

紙粉発生抑制型新紙管を開発

田中紙管

切断面が美しくバリも少ない



展示会でも好評の新紙管「ピュアカット」

田中紙管(大阪府八尾市、☎072・992・0455)は、切断時や輸送時の紙管同士の間隙などによる紙粉の発生を抑制する新タイプの紙管「ピュアカット」を開発、販売を開始した。

一般的に、紙粉の発生は紙管切断時、搬送時の紙管同士や紙管と包装材料との擦れが原因とされる。この「ピュアカット」は、素材に潤滑油を適量入れることにより、切断時の刃物の抵抗を抑え、切断面に適量の潤滑油が塗布されることが特徴。素材に潤滑油を練り込んでいるので、どの部分を切断しても紙粉の抑制効果が期待できる。

輸送時の紙管同士、紙管と包装材料の擦れがある場合でも紙粉発生が抑えられるほか、需要家の製品に紙粉が付着することが少ないため、より安心して使用できる。

切断面がきれいでバリも少なく、擦れた際の摩擦も軽減され美しさが維持される。

通常の紙管と比較して、強度などの物性の違いがなく、構造に関する違いも外観などの違いは確認されていない。紙管に含まれる潤滑油も有害性がないので、安心して使用できる。

測定機器「パーティカルカウンターHC」を用いた評価テストによると、「ピュアカット」と通常紙管を比較した場合、5割以下の発生量が半分以下になることが確認された。

「紙粉が付着しているのを、製品出荷前にほこりを除去している」といったユーザーなどに適しており、同社ではこれらの分野も含めて販売を強化する意向。

包装タイムス 2015年8月31日号